

第317回 所長会議議事要旨

日 時 令和4年10月28日(金) 13:30 ~ 14:55

場 所 管理棟大会議室及びウェブ会議 (Zoom)

出席者

【構成員】 山内機構長、足立理事、内丸理事、岡田理事、齊藤素粒子原子核研究所長、
小杉物質構造科学研究所長、小関加速器研究施設長、波戸共通基盤研究施設長、
小林 J-PARC センター長 (東海キャンパス所長)

【オブザーバー】 住吉監事、辻監事

【管理局等】 五味田総務部長、阿部財務部長、永木研究協力部長、外山施設部長、幸田参事役、柴沼参事役、
坪監査室長、櫻井人事労務課長、仲島情報基盤管理課長、永見主計課長、長谷川経理課長、
土田契約課長、岡田研究協力課長、佐藤施設企画課長、若林整備管理課長、瀬谷整備管理課副課長、
柴原東海管理課長、日下田福利厚生室長、根本決算室長、岩見外部資金室長、島根共同利用支援室長、
河西QUP業務推進室長、山口国際プロジェクト推進室長、鈴木資産マネジメント室長ほか

配付資料

1. 第316回所長会議議事要録(案)
2. 教員公募(素核研・教授1名・和光原子核科学センター)
3. 教員公募(素核研・准教授1名・理論センター)
4. 教員公募(素核研・准教授1名・CMB)
5. 教員公募(素核研・助教1名・Belle)
6. 教員公募(素核研・助教1名・ハドロン)
7. 教員公募(加速器・講師・若干名)
8. 教員公募(加速器・研究機関講師・若干名)
9. 教員公募(共通・教授1名・放射線)
10. 科学研究費補助金及び学術研究助成基金助成金事務取扱要項の一部改正について
11. 総研大との関係協力に関する協定書の変更について
12. (席上配付あり) 2022年度短期海外招聘研究員(第4回)及び招聘研究員受入計画について
13. 協定締結計画書(高エネルギー加速器研究機構およびビクトリア大学とのハイパーカミオカンデ実験の建設に関する覚書)
14. CERNとの協定書補記No.25の締結について
15. 高周波利用設備運用管理規程の制定について
16. (別途配信資料) URAの人事について(URA22-4)
17. (別途配信資料) URAの人事について(特定人事・オープンバージョン推進部・特任首席URA)
18. (別途配信資料) URAの人事について(特定人事・オープンバージョン推進部・特任上席URA)
19. (別途配信資料) URAの人事について(特定人事・素核研・特任専門URA)
20. 測定器開発センターの英語名称について
21. 国立大学法人会計基準等の改正に伴う機構への影響について

議 事

【1】第316回議事要録の確認について

資料1のとおり了承された。

【2】協議

(1) 教員公募（素核研・教授1名・和光原子核科学センター）

齊藤所長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、公募締切を変更する可能性があることを含め了承された。

(2) 教員公募（素核研・准教授1名・理論センター）

齊藤所長から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、公募締切を変更することを含め了承された。

(3) 教員公募（素核研・准教授1名・CMB）

齊藤所長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、公募締切を変更する可能性があること及び研究（職務）内容に記載のグループ名を確認のうえ修正することを含め了承された。

(4) 教員公募（素核研・助教1名・Belle）

齊藤所長から、資料5に基づき説明があり、審議の結果、公募締切を変更することを含め了承された。

(5) 教員公募（素核研・助教1名・ハドロン）

齊藤所長から、資料6に基づき説明があり、審議の結果、公募締切を変更することを含め了承された。

(6) 教員公募（加速器・講師・若干名）

小関施設長から、資料7に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(7) 教員公募（加速器・研究機関講師・若干名）

小関施設長から、資料8に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(8) 教員公募（共通・教授1名・放射線）

波戸施設長から、資料9に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(9) 科学研究費補助金及び学術研究助成基金助成金事務取扱要項の一部改正について

内丸理事から、資料10に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(10) 総研大との関係協力に関する協定書の変更について

岡田理事から、資料11に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(11) 2022年度短期海外招聘研究員（第4回）及び招聘研究員受入計画について

岡田理事から、資料12に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(12) 高エネルギー加速器研究機構およびビクトリア大学とのハイパーカミオカンデ実験の建設に関する覚書について

岡田理事から、資料13に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(13) CERNとの協定書補記No. 25の締結について

岡田理事から、資料14に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(14) 高周波利用設備運用管理規程の制定について

外山施設部長から、資料15に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

ルールとしては実施可能だが、十分な周知が重要だと思う。例えば、新たな機器を購入する際には購入プロセスの中でリマインドしてもらえる仕組みがあると良い、とのコメントがあり、周知についてはこれからしっかり考えていきたい旨、山内機構長より補足があった。

<協議事項(15)～(18)はクローズド協議>

(15) URAの人事について（URA22-4）

足立理事から、資料16に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(16) URAの人事について（特定人事・オープンバージョン推進部・特任首席URA）

岡田理事から、資料17に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(17) URA の人事について (特定人事・オープンイノベーション推進部・特任上席 URA)

足立理事から、資料 18 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(18) URA の人事について (特定人事・素核研・特任専門 URA)

足立理事から、資料 19 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

【3】報告

(1) 測定器開発センターの英語名称について

齊藤所長から、資料 20 に基づき報告があった。

加速器の分野で Beam Instrumentation という言葉が定着していること、加速器研究施設の活動を大きく分類すると Accelerator & Detector であることから、現在の Detector Technology の方が外から見たときにはわかりやすいのではないかと、とのコメントがあり、Detector という限定された技術に限らないという趣旨での変更であり、素粒子原子核研究所における Instrumentation であることから誤解や混同は起きない旨の説明があった。

(2) 国立大学法人会計基準等の改正に伴う機構への影響について

阿部財務部長及び根本決算室長から、資料 21 に基づき報告があった。

以上